

報告事項ク

「令和5年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について

「令和5年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について、別紙のとおり報告します。

令和5年7月5日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

「令和5年度とっとり夢プロジェクト」事業の選考結果について

令和5年7月5日
高等学校課

1 概要

本事業は創造力とチャレンジ精神を持った高校生が、自由な発想で主体的に企画・活動することを支援し、さらには、生徒自らの自主性・個性の伸長、学校や地域の活性化につながることを目的として平成26年度から実施している。今年度は、選考を通過した以下の8企画を採択し、支援することとした。

(1) 「星取県の高専生が天体観測用分光器『スペクトリメーター』を作ってみた」
(米子高専 代表 吉田 浩瑛) (支援額 488,398円)

分光器を備えた公開天文台は少なく、さじアストロパークにも設置されていない。分光器を製作して、さじアストロパークに寄付し天体観望会などで利用することで、教育研究活動に寄与する。

(2) 「米子市内の高校生の協働による米子市中心市街地における活性化のための実証実験
(略称：YY(ワイワイ)プロジェクト)」
(米子高校 代表 新田 克登) (支援額 132,940円)

米子市内の高校生(米子西、米子、米子南)がそれぞれの学校で学んできた得意分野を生かした協働により、米子市商店街活性化に取り組まれている民間業者と連携し、空き店舗の有効活用策を米子市や商店街へ提案することにより地域貢献を果たす。

(3) 「2025大阪・関西万博出店を目指した地域文化×アート×プログラミングによる作品作り」
(米子高専 代表 藤原ダイヤ) (支援額 400,000円)

2025大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーと地域文化を表現するアート×デジタルの作品制作を行う。また、その作品を2025大阪・関西万博で展示できるように準備を進める。

(4) 「第2回星撮県フォトコンスト」
(米子東高校 代表 岡本 怜大) (支援額 125,000円)

高校生が主体となって若者に星を見るきっかけを作るとともに、鳥取県の星空の魅力の認知に努めるため昨年度に続き第2回フォトコンテストを実施し、作品の展示会を行う。

(5) 「附属SPデザインプロジェクト～ピザ販売におけるSDGs」
(鳥取大学附属特別支援学校 代表 加藤 真拓) (支援額 300,000円)

お皿づくりの技術を向上し、校内や地域の方向けに絵付けなどのワークショップを行う。SDGsの観点から鳥取市河原町の窯元である廣瀬泰樹先生、小淵祥子先生の指導をいただきながら、再利用できるピザ用のお皿を開発し、販売活動などに活用する。

(6) 「『抹茶 enjoy ふう』プロジェクト」
(鳥取大学附属特別支援学校 代表 福安 空我) (支援額 200,000円)

学校設定教科「カルチャー」にて自分たちが考えたオリジナル和菓子と抹茶で、地域の方々など多くの人をおもてなしして、ゆったりとした時間をすごしていただく。

(7) 「高校ダンス部主催のとっとりダンスバトル! SHOIN DANCE CUP」
(米子松蔭高校 代表 山本 羽和) (支援額 200,000円)

身体のみで誰でも参加することができるダンスイベントを開催することによって、幅広く県内外の人々の交流を図る。

(8) 「小劇場で地域の活性化を目指す」
(米子東高校 代表 伊藤 ひより) (支援額 150,000円)

米子市の中心部の空き店舗を活用して、50席程度の小劇場を造り、地域の交流や文化創造の核を作ることを目指す。その準備のため東京または大阪の小劇場を視察する。

2 応募状況

15 企画

3 選考までの経緯

4月28日 県内高等学校、特別支援学校高等部及び米子工業高等専門学校に
募集通知を発出

5月19日 受付締切

1次（書類）審査（15 企画）

6月17日 2次（プレゼンテーション）審査（8 企画）

6月28日 決定通知